

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	法 学部・大学院 法 学科・専攻 1 年
プログラム実施 大学名	長榮大学 (国名： 台湾)
プログラム期間	2021年 8月 24日 - 2021年 8月 27日
プログラム参加 の目的	<p>高校時代に台湾の友人ができたことで、台湾に対する文化的及び政治的関心が高まりました。インターネット上でさらに台湾、中国の人と交流をするために、大学では中国語を教養科目として選択しました。本プログラムに参加した目的は、台湾の文化について新しい知識を得ることと、新しい台湾の友人を得ることです。また、中国語を学び続けるためのモチベーションを上げることもつながると考えます。</p>
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アジア各国から学生が参加 (総勢 50 名以上)。 →5つほどのグループに分かれる (LINE グループあり)。それぞれのグループに長榮大学の学生が一人ずつつく。 ・ 長榮大学の講師の方が後述のテーマについてパワーポイントを用いながら講義をしてくれる。 ・ 講義中時折グループのみのミーティングルームへ移動するように指示される。そこではグループのメンバーとともに、講義の内容や「自分の国と台湾との違い」について話し合う。 ・ 基本全て英語。時々中国語のフレーズを教えてもらえる。 <p>一日目：オープニングセレモニー (長榮大学の紹介など)</p> <p>二日目：台湾の文化について (台湾の歴史、宗教、慣習など)</p> <p>三日目：台湾の料理について (タピオカミルクティーとオアチェンの作り方を実際に作りながら教えてくれる)</p> <p>四日目：台湾の伝統的なボードゲーム (象棋) について+各グループによるファイナルプレゼンテーション (プログラムの感想を述べたものや、各国の文化の違いを調べたものが多かった)</p>

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

台湾の先住民文化や、かつて台湾を支配したオランダ、中国、日本それぞれの建築物や文化が今でも残っているため、台湾は文化的にとっても豊かな国であるということを学びました。また、グループ内での議論を通じて、アジア各国の宗教やタブーを知ることができました。日本の文化との意外な共通点や、まったく異なる点を発見するたびに驚きました。一方、他国の人のとってみれば、日本はとてもハイコンテクストな文化を持っているのだそうです。日本の文化を客観的に見る機会は中々ないので、この指摘はとても興味深かったです。外国の人と話す際には、積極的に言葉で物事を伝える必要があると感じました。語学に関しては、講義もグループでの議論も全て英語だったので、聞く力と話す力の両方がよく鍛えられました。インド出身の方の英語はかなり難解でしたが、ゆっくり話してもらい、どうにか理解できました。また、自分の英語が相手に理解されることで、自信もつきました。

プログラム参加全体を通しての感想

本プログラムに参加した目的は、台湾について学ぶことと台湾の友人をつくることでした。もちろんこれらを達成することはできましたが、実際には台湾のみならず、アジア各国について学び、アジア中に友人を持つことができました。また、日本の文化を客観視することができました。普段当然だと思っていることも、海外へ行くとタブーである場合があります。他国へ行くときはその国の文化をあらかじめよく調べるようにしようと強く感じました。講義に関して思ったことは、一方通行ではなく、双方向型の講義でとてもよかったですということです。講義中は質問や感想をいつでもチャットボックスに送信してよいということになっており、講師の方も素早く返答していました。これによって、講義の理解がとても深まりました。グループ内での議論について思ったことは、長栄大学の学生の方が議論を仕切ってくれたおかげで、スムーズかつ意義のある議論ができたということです。また、グループ内ではその方だけが台湾に住んでいたため、台湾に関する様々な情報を補足的に得ることができました。また、本プログラム全体を通して最も感じたことは、「台湾に行きたい」ということです。多様な文化や食べ物を現地で堪能し、資料館で台湾史を学んでみたいと強く思いました。この「台湾に行きたい」という感情をもとに、さらに中国語の学習に励みたいと思います。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Bさん
所属・学年	理学部・大学院 理学科・専攻 1年
プログラム実施 大学名	長榮大学 (国名：台湾)
プログラム期間	2021年8月24日 - 2021年8月27日
プログラム参加 の目的	英語の力を向上させるため。また、海外の文化を知ることによって自分の視野を広げ、将来に役立てるため。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	8/24 opening ceremony Introduction of CJCU Team building 8/25 Cultural trip in Taiwan 8/26 Cook in Taiwan style 8/27 Games on Traditional Taiwan Chessboard Closing ceremony and presentation each team

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

今まで文法を気にして、なかなか会話できていませんでしたが、とてもフレンドリーなチームアシスタントさんや個性のあるチームメイトのおかげでとても楽しく参加できました。特に、こういったプログラムには積極性のある学生の方々が参加されるため、受け身的な態度では自分のためにはならないと思ったため、積極的に取り組むようにしました。グループ別の活動では台湾、日本だけでなく、フィリピン、マレーシア、ベトナム、エジプトなど様々な国出身の人がいたので、いろいろな国の文化を知ることができてよかったです。「できるかな」と迷う時間があったら、即行動するのが大切だと思いました。

プログラム参加全体を通しての感想

台湾は日本に地理的に近い国の一つですが、私は特に調べたこともなく、台湾についてよく知らないことが多くありました。このプログラムを通し、アジアの国々にはたくさんの魅力がまだまだたくさんあって、もっと調べたいと思うようになりました。海外の学生の方々と一緒に活動するのはこれが初めてではありませんが、多国籍のメンバーの中で活動したのは初めてでした。

また、多くの人が日本についていろんなことを知ってくれているのに対し、自分はあまり何も知らないことに気づかされました。将来、海外で働きたいと思っているので、今からでも他国のことを知っていかなければならないなと思います。

コロナが収まったら、実際に台湾に旅行したり、海外へ留学したりして、さらに自分を高めていきたいと思います。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Cさん
所属・学年	_____文_____学部・大学院 _____コミュニケーション情報 学科・専攻 _____2_____年
プログラム実施 大学名	長榮大学 (国名： 台 湾)
プログラム期間	2021年8月24日 - 2021年8月 27日
プログラム参加 の目的	海外留学に興味があり、このプログラムを通して大体どれほどの語学 力が必要になるのかを知るため。また、台湾の文化を知るだけでなく、 実際に体験して学ぶため。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	Google ミートを使ったオンライン授業。 1日目：開会式、ミニゲーム 2日目：Cultural Trip in Taiwan(台湾についての歴史、文化などを 学ぶ) 3日目：Cook in Taiwan Style (各自で台湾料理(boba, oyster omelet) を作る) 4日目：Games on Traditional Taiwan chessboard(象棋)、各グルー プのプレゼンテーション、閉会式

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

全体でもグループ内でも自分から進んで発言をする人が多く、積極的に意見する姿勢の重要性を改めて学んだ。また、台湾のこれまでの他国とのかかわりによって生じた多様性を持った文化や、台湾以外の国の文化についても学ぶことができた。加えて、このプログラムに参加したことで、自分の英語能力がかなり不足していることを実感できた。

プログラム参加全体を通しての感想

外国に行くことが難しくなった現在の状況から、今回のオンラインサマーキャンプに参加したが、貴重な経験ができたと思う。インターネットの接続が不安定でうまく参加できなかったり、それぞれの国から参加していることで、開けない Web ページがあったりなど、オンラインならではの問題も発生したが、基本的には円滑に進められた。ゲームやプレゼンの準備などは参加者同士でコミュニケーションをとることができ、楽しかった。文化の学習においては、台湾についての知識はほとんどなかったが、学んでいくうちに日本と似たような文化もあり、比較しながら見ていくのが面白かった。クッキングでは、画面の中の先生の指示に従ってそれぞれ料理したのだが、先生のスピードに追い付くのが大変であった。台湾の象棋は、実物をもらうことができた。オンラインなので実際に体験することは難しいのではないかと思っていたが、自分の家でも体験できるというのは面白かった。英語での授業、交流ということで初日から緊張しっぱなしであったが、全体的に温かい雰囲気の中で参加できてよかった。しかし、自分の英語のリスニング・スピーキングにはもっと努力が必要だと痛感した。母国語でない英語でも流暢に話している様子を見て、勉強のモチベーションが高まったので、これから頑張ろうと思う。次は実際に外国まで学びに行きたい。